

有害プランクトン情報 (令和2年度 - No. 3)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合
- | | | | | |
|--------|----------|------|----------|------|
| 6月 第1回 | 内湾 (8地点) | 6/2 | 内房 (7地点) | 6/3 |
| 6月 第2回 | 内湾 (8地点) | 6/15 | 内房 (7地点) | 6/16 |
| 6月 第3回 | 内湾 (8地点) | 6/29 | | |
- 貝類漁場内
- | | | |
|------|----------------------------------|--------------------------|
| 九十九里 | 6/1,2,4,5,9,10,13,15,16,18,22,24 | (生産技術研究室が担当) |
| 千葉北部 | 6/15,24 | 木更津南部 6/18 木更津南部 6/10,26 |

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150 %以上) は 6/29 にアクアライン南部～盤洲までの多くの地点で見られました。海水中からは主にリゾソレニア属やダクチリオソレン属などの珪藻プランクトンが大量発生しており、有害プランクトンによる赤潮ではありませんでした。
- ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- (旧) アレキサンドリウム カテネラが 6/10 に木更津南部の貝類漁場内で僅かに (0.05 細胞/mL) 確認されましたが、その後の検査では貝毒は検出されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- ディノフィシス アキュミナータは 6/2 に羽田沖～千葉沖およびアクアライン南北の地点で見られました (最高密度は羽田沖、千葉沖、アクアライン北部の 3 地点でいずれも 0.15 細胞/mL)。また、6/15,29 には内湾の全地点で見られ、最高密度はそれぞれ 2.45 細胞/mL (アクアライン南部)、2.6 細胞/mL (千葉沖) でした。同種は 6/15,24 の千葉北部 (密度はそれぞれ 0.5 細胞/mL, 0.4 細胞/mL) および 6/10 の木更津南部 (0.1 細胞/mL) の貝類漁場内でも見られています。
- ディノフィシス フォルティは 6/15 に富津沖 (0.25 細胞/mL) とアクアライン南部 (0.1 細胞/mL) の地点で見られました。
- ディノフィシス ロツンダータも同様に 6/2 に羽田沖 (0.05 細胞/mL) および千葉沖 (0.2 細胞/mL) の地点で見られました。また、6/15 には盤洲北部と南部の地点 (それぞれ 0.05 細胞/mL, 0.35 細胞/mL)、6/29 には富津沖 (0.1 細胞/mL) で見られました。同種は 6/10 の木更津南部 (0.05 細胞/mL) および 6/15 の千葉北部 (0.2 細胞/mL) の貝類漁場内でも見られています。
- ディノフィシス インファンディブラは 6/29 アクアライン北の内湾の地点で見られ、密度は 0.1 細胞/mL でした。
- 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。

※ 赤潮（透明度 1.5 m 以下，pH 8.5 以上，酸素飽和度 150 %以上）は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

○ 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

○ ディノフィシス アキュミナータは 6/3 に富浦沖（0.1 細胞/mL）で見られました。

○ ディノフィシス フォルティは 6/3 に第 2 海保（0.2 細胞/mL）、6/16 に第 2 海保（0.2 細胞/mL）と保田沖（0.05 細胞/mL）の地点で見られました。

○ ディノフィシス インファンディブラも 6/16 に大貫沖（0.05 細胞/mL）で見られました。

○ 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

（貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

九十九里海域(旭～一宮沖貝類漁場)

【有害プランクトンの出現状況】

○ シャットネラ属，シユードシャットネラ属，カレニア属は確認されませんでした。

○ ヘテロシグマ アカシオが 6/4 に横芝沖で 16.6 細胞/mL，白里沖で 25.5 細胞/mL，6/5 に海匝沖で 677 細胞/mL で見られました。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

○ 6/15,18 に旧アレキサンドリウム カテネラが 0.2 細胞/mL 及び 0.1 細胞/mL で見られました。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

○ ディノフィシス アキュミナータが 6/1,4,5,10 で見られ、最大密度は 6/5 の 0.9 細胞/mL でした。

○ ディノフィシス フォルティが 6/1,2,4,5,10,13,15,16,18,24 に見られ、最大密度は 6/1 の 0.85 細胞/mL でした。

○ その他のディノフィシス属が 6/1,4,5,9,15,16,24 に見られ、最大密度は 6/5 の 0.55 細胞/mL でした。

○ 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

（貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

6/2,3 内湾・内房 珪藻 スケルトネマ属，キートセロス，ケラチウム属

6/15,16 内湾・内房 珪藻 スケルトネマ属，ケラチウム属

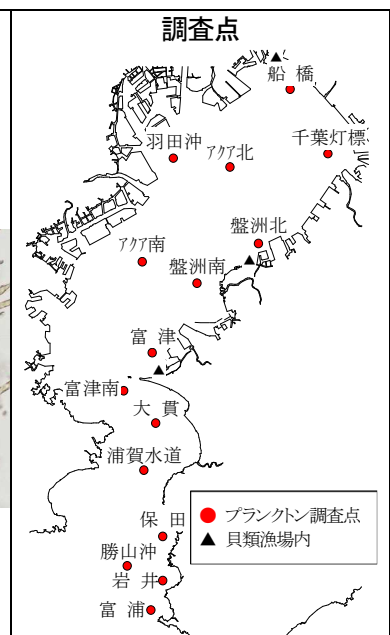
6/29 内湾 珪藻 リゾソレニア属，キートセロス属



ケラチウム属 (6/2 船橋)



リゾソレニア属
(6/29 アクアライン北部)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp